

地震災害予測研究会（第2回）議事要旨

日 時：平成23年11月28日(月) 15:00～17:00

場 所：損保料率機構 29階L1・2会議室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎

和泉正哲 額瀨一起 境有紀 林康裕 緑川光正

（機構）大滝(リスク業務室長) 江口(火災・地震保険部長)

丸楠(火災・地震保険部地震グループリーダー)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

1. 第1回の研究会における委員指摘事項とその対応について

A. 事務局より、前回の研究会での委員指摘事項とその対応について、説明した。

2. 住宅の損壊被害予測手法に関する研究について

A. 研究事業の委託先より、2007年以降の大きな地震における保険実績データを用いた地震動指標と被害率の分析の進捗を説明した。

B. 委員から、下記の意見があった。

1) 2007年以降の大きな地震は地震動の周期特性が偏っている場合があるため、注意が必要である。

2) 回帰などの統計的な手法に頼って分析するだけでは不十分で、被害が発生する物理的、工学的なメカニズムと整合するように注意する必要がある。

以 上